

私は、中学3年生の頃から医学コースに所属していました。医療現場において大切なチームワークを高める講座や自らプレゼンをする講座、面接や小論対策など様々な経験をしたことで、医師を目指す意志が明確になったと思っています。また、医師の方や患者さんと実際に触れ合う機会もありました。多くの話を耳にする中で、やりがいや楽しさなどだけでなく苦悩についても伺いました。様々な角度からお話を聞くことができたため、自分自身の視野が広がりました。

部活動は、中高6年間卓球部に所属していました。卓球はメンタル競技でもあるため、身体面だけでなく精神面も鍛えられました。また、学年問わず仲が良かったため、お互いを高め合っていける関係性が身近にあったことが卓球部の良さだと思っています。文化祭では、クラス企画を一から考え、役割分担をし、コミュニケーションを取りながら完成させることができて良かったです。また、有志企画でバンドをやったことがすごく印象に残っています。卓球部のみんなで組んだのですが、バンド経験が無く、何週間も前から練習をしても無事完成形に持っていけるか不安でした。しかし本番は、卓球部のチームワークを発揮し、今までで一番良い発表ができ、とても楽しい思い出になりました。

茨中・茨高の良いところは、文武両道であるところです。勉強面では、weekly テストと呼ばれる放課後のテストが毎週決まった曜日にあります。これは、学んだ知識を定着させることに役立ちます。毎週あるため対策するのが大変で辛く感じる日もありましたが、毎日コツコツ身につけることにより、長期記憶につながると感じました。また、1年間で定期テストは6回あります。多く感じますが、授業がわからずおいていかれる状態に陥ることを防げたと思っています。他にも学力向上のため、模試の種類も豊富にあり、長期休みでの課外授業も多くあります。特に、高校3年生では、各大学の過去問模試があります。生徒一人ひとりへのアドバイスだけでなく、人それぞれに合った解説などもしただけの点はとても貴重な時間だったと思っています。進路に悩む日々も、先生方のサポートのおかげで前を向き続けることができます。反対に部活動面では、放課後の時間を利用して活動しています。大会への出場が多く、チャレンジする機会が多々あります。これは、技術向上だけでなく、自分自身の成長へと繋がったと感じます。集中力や忍耐力などが身についたと思います。

今後は、小学4年生の頃から目指していた「医師」になるという夢の実現に向けて精一杯努力していきます。小児科医の地域格差を減らしていけるような医師になるために、総合的な医療知識を身につけるとともに、全国から集まる仲間たちとの交流を深めつつ、人との関わり方も学んでいきたいなと思っています。